

廃校を利用した農村体験のできる宿 『ふれあいの里 さかもと』

(徳島県勝浦町)

徳島県勝浦町にある『ふれあいの里 さかもと』は廃校となった小学校の校舎を改修し、農村体験のできる宿泊施設として再活用しています。改修工事は町が行い、運営は地元住民組織である「坂本グリーンツーリズム運営委員会」が指定管理の委託を受けて行っています。スタッフは殆ど地元「坂本地区」の住民達です。試行錯誤の中の活動でしたが10年を経過しました。

お客様からよく聞かれます。「こちらのお勧めは何ですか。」

当初はうまく答えられなかったものです。でも今は胸を張って答えられます。

「坂本地区の環境と人々です。そして、スタッフのお客様をお迎えする気持ちです。」

『ふれあいの里さかもと』へは、リピーターのお客様が多いのです。そして、「ここへ来るとホットするよ」と多くの方が言って下さいます。

様々なお客様の要望を出来るだけ多く汲み取ろうと親身になるフロントスタッフ。農家の産物を美味しく食べていただくよう、日々研鑽する厨房で働くお母さん達。気持ちよく過ごしていただきたいと清掃に励む者。日ごろの技をインストラクターとなって丁寧に教えるおじさん・おばさん達。お客様とのふれあいを大事にしたいという宿直の運営委員達。

地域の(集団)の力を発揮し、更に気持ちが一つになっているからこそお客様にやすらぎを感じていただけるのだと思っています。



坂本地区の風景



施設全景



スタッフ



ふれあいの里さかもとの小さな体育館で始まったお雛様の創作飾りが「お雛様の奥座敷・おひな街道」として地域の一大イベントとなりました

四万十川中下流域での空き民家の一軒貸し『百々世庵』

(高知県四万十市)

高知県四万十市にある『百々世庵』は空き民家を改装した「一軒貸し」の宿泊施設として、農村で長期滞在されるお客様に提供しています。

通常の農林漁家民宿では、長期滞在客を受け入れると経営者である農林漁家の負担が大きくなるという面もありますが、この「一軒貸し」方式では、食事の提供はなくお客様は自炊または外食をして宿泊します。このため施設には自炊のできる台所、冷蔵庫に加えて、洗濯機も備えています。また客室にはエアコンも付いています。

利用料金は1軒1日当たりの設定で、宿泊人数が多くなると割安になるため、グループなどが利用しやすくなっており、連泊も可能です。(ただし居住のための施設ではないので利用期間は2週間までとしています。)

地域内の観光施設である『四万十・川の駅カヌー館』で予約状況等の問い合わせに対応しており、鍵の受け渡しはオーナーさんと直接やりとりします。お客様は鍵の受け渡しの際のオーナーとの会話や室内の配慮にもてなしの気持ちを感じることになります。また予約や鍵を渡す時に、地域内の農産物直売所の情報、観光情報を提供しているほか、室内にも地域情報を掲載したパンフレットなどが置いてあります。

掃除、寝具の手入れなどは民宿と変わりません。前の宿泊客の痕跡を残さないよう入念に行います。一軒貸しはこの地域に何軒もあり、オーナーさん自ら管理しているケース、管理を近所の方に委託しているケースなどさまざま、『百々世庵』はご近所の方が委託されて管理しています。

「空き民家の一軒貸し」

:「食事を出すのは荷が重い」、「通常の貸し家にはしたくない」などの理由で放置されたままの空き家を旅館業法の宿泊業営業許可を取った宿泊所として整備、活用。

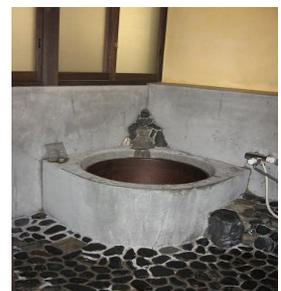
現在、高知県四万十川流域では10軒が営業中。



百々世庵全景



囲炉裏のある室内



「レトロなお風呂」



客間

洗濯機、掃除機



グループで経営する農家民宿『かまや』

(高知県梼原町)

高知県梼原町の四万川地区、龍馬脱藩の道沿いにある『かまや』は、平成16年11月に農家の女性4人グループが開業した農家民宿です。宿泊施設は、使われていなかった民家を所有者からグループが借り受け、県単独補助事業に加えメンバー全員が出資して、客室(和室)、居間(囲炉裏)、厨房という間取りに改修しました。開業によって空き民家がよみがえるとともに、メンバーの皆さんの生活のメリハリ、生き甲斐、そして収入が生まれました。

グループによる民宿経営なのでメンバー間での情報共有、また特定のメンバーに負担がかかりすぎないように様々な工夫をしてお客様を迎え入れています。

予約はメンバーのひとりが持つ携帯電話で一元的に受け付けるようにし、原則、朝の当番2名、夕方の当番2名のシフトを組み、お客様の宿泊の準備、調理、片付けを分担して行います。メンバーは全員、農家の主婦ですので、農業、家事、地域の行事など、家族または地域の住民としての生活があります。お互いの家庭や地区の状況を思いやって、シフトの組み方を決めています。夜の接客は原則21:00までとしています。

この地域では冠婚葬祭は地区全体で行うのが習わしになっていますが、『かまや』のメンバーは2つの異なった地区の方で構成されているので、冠婚葬祭の時もお客様をお断りすることなく受け入れることができます。開業当初のPRにおいても4人のメンバー各自の人脈によって個人でやるよりも広い範囲に情報発信できました。

また建物だけでなく、梼原町内で廃業した旅館の食器や什器、設備を譲り受けることができました。

開業して7年、『かまや』は今、地域の中で失われつつある機能も担うようになりました。

ふるさとに帰って来たいけれど実家がすでに無くなっている地元出身者が利用することもあります。宿泊施設として整備されているため居心地も良く、周りの風景もなつかしく我が家に帰ってきたようだと呼びます。

『かまや』は地元の伝統料理の仕出しも請け負っています。仕出し業や飲食店、旅館がほとんど廃業してしまっている地域の中でとても重宝されています。

注)帳簿の場所、運営方法などについて県の所管部署と十分協議の上で許可を得て営業



かまや全景



客室(和室)



メンバー

自己診断チェックシート

よりよいおもてなしを実現するために、ご自身の宿について右欄にチェックを入れ、現状を把握しましょう。

農林漁家民宿としての理念が明確ですか。	
我が民宿「ならでは」「らしさ」の特長がありますか。	
その「ならでは」の特長が、お客様に評価されていますか。	
民宿の外観は、周辺の風景を活かした、しつらえにしていますか。	
駐車場はありますか。	
客室の清掃(ホコリ・汚れ・カビ)やメンテナンス(ドアの開閉・タンスの引き出し・備品破損の修繕)が行き届いていますか。	
客室には不快な臭い(タバコ・カビなど)などはありませんか。	
客室に季節の花、折り紙、歓迎のメッセージカードなどで季節感や気持ちを伝えるもてなしを演出していますか。	
シーツ・枕カバー等にほころび、しみ、焦げ跡などがなく、清潔な状態になっていますか。	
敷布団、掛け布団、毛布は清潔に保つために布団干しなどをこまめにしていますか。	
トイレは常に清潔な状態を保っていますか。	
洗面台と浴室の洗面器やタオルなどが清潔で、石鹸類は十分な量になっていますか。	
民宿内は、家族との共有部分と個人部分(プライベートスペース)が区分されていますか。	
安全研修、救命救急講習などをうけていますか。	
宿舎(旅館、施設など)賠償責任保険に加入していますか。	
消防署・病院・行政機関・保険会社への連絡名簿、地図などを用意していますか。	
生ごみの扱いとして、臭いが出ないような工夫など、きちんと処理していますか。	
笑顔でお客様の出迎え、お見送りをしていますか。	
チェックイン時に申込み内容に間違い(氏名、人数、宿泊数、希望料理、体験内容等)がないか確認していますか。	
館内に地域のパンフレットなどを用意していますか。	
地元の名物・名産・郷土料理を取り入れていますか。	
食事の盛りつけについて、器、季節感、食べやすさ、見た目の美しさなど工夫がなされていますか。	
要望に応じた食事の対応(嫌いなもの、アレルギー、ベジタリアン、子供用、年配者用)を行うことができますか。	
現在の民宿経営の向上に向けて、勉強や研修への参加に意欲を持っていますか。	
体験希望者に対して、内容、日時、料金、諸注意などを、きちんと説明していますか。	
体験中の事故ために参加者に対する傷害保険や、指導者のための指導者傷害保険に加入していますか。	
予約内容のメモを確認してから電話を切っていますか。	
予約受付時、民宿までの交通案内(アクセス)を的確な表現で説明し、目印などを伝えることができますか。	
宿帳や宿泊者リストなどの顧客管理をしていますか。	
宿泊者に対して、季節の案内や年賀状などを送っていますか。	